

平成29年度 当初予算主要事業

(目 次)

	頁
(総務関係)	
議 会 事 務 局	1
危 機 管 理 室	2
企 画 総 務 局	4
市 民 局	12
(厚生関係)	
健 康 福 祉 局	34
こ ども 未 来 局	64
(経済観光環境関係)	
環 境 局	76
経 済 観 光 局	82
(建設関係)	
都 市 整 備 局	107
道 路 交 通 局	123
(消防上下水道関係)	
下 水 道 局	142
消 防 局	147
水 道 局	153
(文教関係)	
教 育 委 員 会	154

財政局財政課

総務関係

(議会事務局)

事業名	事業費	説明
国際交流	176万4千円 財源内訳 〔一般財源 176万4千円〕	大邱広域市姉妹都市提携20周年記念事業 代表団の受入れ 101万8千円 時 期 29年5月 人 員 30人 代表団の派遣 74万6千円 時 期 29年9月 人 員 3人
海外視察	960万円 財源内訳 〔一般財源 960万円〕	海外地方自治行政視察 人 員 12人 支給限度額 80万円／人

(危機管理室)

事業名	事業費	説明
防災まちづくり事業	3,376万2千円 財源内訳 [基金繰入金 3,376万2千円]	防災まちづくり基金を活用して、防災まちづくりの推進を図るための事業を実施する。 わがまち防災マップの作成支援 2,584万7千円 自主防災組織にアドバイザーを派遣し、区役所や消防署等との連携のもと、地域の避難場所や避難ルート上の危険情報等を記載したわがまち防災マップの作成を支援する。 29年度 388地区 地域の防災リーダーの養成等 791万5千円 (事業内容) ①防災士の資格取得に必要な研修講座を実施して、地域の防災リーダーを養成する。 ②資格取得者を対象に、フォローアップ研修を行うとともに、新たに活動用ベストを支給する。 ③市民の防災知識向上のための講演会等を開催する。
防災行政無線（固定系）の更新整備	1,115万3千円 財源内訳 [一般財源 1,115万3千円]	市の防災関係部局間における情報伝達網である防災行政無線（固定系）について、機器の老朽化等に対応するための更新整備を行う。 (スケジュール) 28年度 電波伝搬調査等 29年度 基地局耐力評価等 30年度 基本設計・実施設計 31・32年度 機器製作・設置 33年度 運用開始

事業名	事業費	説明
防災情報伝達体制の強化	2億992万8千円 財源内訳 〔 市債 1億9,450万円 〕 〔 一般財源 1,542万8千円 〕	防災行政無線屋内受信機の増設 1億5,470万円 避難行動要支援者がいる世帯のうち、土砂災害危険箇所等に居住する世帯を対象として、避難行動要支援者宅又は支援者宅に防災行政無線の屋内受信機を整備する。 防災行政無線屋外スピーカーの増設 5,522万8千円 避難情報の伝達をよりの確に行うため、サイレン音が聞こえない地域にサイレン音の吹鳴と音声情報の発信ができる防災行政無線屋外スピーカーを整備する。 (スケジュール) 29年度 電波伝搬調査、整備 (5基) 30～33年度 整備 (13基)

(企画総務局)

事業名	事業費	説明						
庁舎等整備	4億5,950万3千円 財源内訳 (市債 4億5,790万円 一般財源 160万3千円)	議会棟の耐震化 (スケジュール) 26～28年度 耐震診断、耐震補強計画策定、実施設計 29年度 工事 30年度 工事 (債務負担行為の設定) <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>期間</th><th>限度額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本庁舎議会棟耐震補強工事</td><td>30年度</td><td>3億6,900万円</td></tr> </tbody> </table> 本庁舎防潮板の設置 1億9,800万円 本庁舎地下に設置されている自家発電設備等の浸水被害を防止するため、浸水が想定される出入口に防潮板を設置する。 沼田出張所建替え 2億6,150万3千円 (沼田公民館、沼田老人いこいの家と合築) 場 所 安佐南区伴東七丁目 (スケジュール) 26～28年度 基本設計、実施設計、建設工事等 29年度 建設工事等 30年度 開所、駐車場用地取得等	事業名	期間	限度額	本庁舎議会棟耐震補強工事	30年度	3億6,900万円
事業名	期間	限度額						
本庁舎議会棟耐震補強工事	30年度	3億6,900万円						

事業名	事業費	説明
区役所機能の強化	400万円 財源内訳 〔 一般財源 400万円 〕	区政運営調整費 市民のニーズを踏まえ、緊急に実施する必要が生じた事業について、迅速かつ柔軟に対応できる予算（各区50万円）を措置する。
ふるさと納税特産品贈呈事業	424万円 財源内訳 〔 寄附金 424万円 〕	寄附への謝意を表すとともに、広島ならではの特産品の知名度を向上させ、本市のイメージアップを図るため、1万円以上の寄附をした国内在住の個人に対し、本市の特産品を贈呈する。
被爆70年史編修発行事業の実施	3,821万3千円 財源内訳 〔 一般財源 3,821万3千円 〕	高齢化の著しい被爆者や復興関係者の貴重な証言を後世へ伝承するとともに、未来を担う若い世代に広島歴史や被爆の実相を伝えるため、被爆70年史の編修・発行を行う。 (被爆70年史の概要) 基本テーマ 都市と市民生活（市制施行から現代まで） 発行部数 5,000部 (スケジュール) 26～28年度 編修内容検討、国内外資料調査・収集、原稿執筆 29年度 編修、発行

事業名	事業費	説明
広島市総合計画の改定	1,283万4千円 財源内訳 〔一般財源 1,283万4千円〕	第5次広島市基本計画の計画期間が32年度で満了することから、基本構想及び基本計画の改定に着手する。 (スケジュール) 29年度 総合計画審議会の設置、市民まちづくりアンケート調査、改定課題抽出等 30年度 各区まちづくり懇談会の開催、基本構想及び基本計画の骨子作成等 31年度 基本構想及び基本計画の素案作成等 32年度 基本構想及び基本計画の改定
広島の拠点性強化に向けた検討	124万1千円 財源内訳 〔一般財源 124万1千円〕	経済団体、大学、行政で構成する懇話会での意見交換を通じて、広島の拠点性強化や「200万人広島都市圏構想」の実現に向けた検討を行う。
広島広域都市圏における連携・交流の推進 (都市圏連携事業)	395万1千円 財源内訳 〔一般財源 395万1千円〕	広島広域都市圏内市町との連携・交流を推進するための事業を実施する。 広島広域都市圏協議会事業 208万1千円 様々な媒体等を活用した圏域情報の発信や、圏域に根ざしたプロスポーツ等の共同応援や文化イベントの共同鑑賞等を行う。

事業名	事業費	説明
		まち起こし協議会における取組の推進 187万円 “神楽” まち起こし協議会 153万4千円 オープン型の神楽公演や神楽継承における課題解決のための取組を行う。 “食と酒” まち起こし協議会 33万6千円 圏内の各種イベントにおいて郷土自慢の食や酒の紹介等を行う。
ひろしま里山交流プロジェクトへの参画	333万8千円 財源内訳 〔 一般財源 333万8千円 〕	広島県内の中山間地域において、多様な人材のネットワークを構築し地域づくりに向けた実践活動の拡大を図るため、中山間地域一円で展開する県民参加型交流イベントなどを開催する。 実施主体 県及び中山間地域を有する19市町等で構成する実行委員会 実施期間 28・29年度 事業費 1億9,160万円（29年度分） （負担区分） 〔 広島県 1億7,160万円 広島市 333万8千円 他市町 1,666万2千円 〕

事業名	事業費	説明
比治山公園「平和の丘」に係る調査・検討	540万8千円 財源内訳 〔一般財源 540万8千円〕	28年度に策定する比治山公園「平和の丘」基本計画に基づき、民間事業者や市民等と連携した公園の整備や管理・運営手法について幅広く検討する。
地域コミュニティの活性化の推進	2,214万5千円 財源内訳 〔一般財源 2,214万5千円〕	“まるごと元気”地域コミュニティ活性化補助事業 1,013万5千円 町内会・自治会、地区社会福祉協議会等が、自主的・継続的に行う地域コミュニティの活性化に資する取組を支援する。 (拡充内容) 補助対象を住宅団地から全市域に拡大 (支援する取組) ①地域活性化プランの作成 地域が目指す将来像、課題解決のための取組メニューや取組体制について定めたプランを作成する。 補助率10/10、限度額50万円 ②空き家等を活用した住民間の交流拠点づくり 空き家等を活用して、地域活動や地域住民の交流の場となる拠点を作る。 補助率10/10、限度額50万円

事業名	事業費	説明																		
		③地域のコミュニティづくりに資する取組 空き地を活用した菜園・花壇づくり プラチナ世代・リタイア世代等の地域デビュー支援 交流拠点におけるネットスーパー利用の環境づくり 住民勉強会の開催 他の地域等との交流を図る活動の実施（新規） 子どもたちの思い出づくりの取組（新規） その他地域の活性化に資する地域独自の取組 （１事業当たり） <table> <tr> <td></td><td>補助率</td><td>限度額</td></tr> <tr> <td>初年度</td><td>５／５</td><td>１０万円</td></tr> <tr> <td>２年度目</td><td>４／５</td><td>８万円</td></tr> <tr> <td>３年度目</td><td>３／５</td><td>６万円</td></tr> <tr> <td>４年度目</td><td>２／５</td><td>４万円</td></tr> <tr> <td>５年度目</td><td>１／５</td><td>２万円</td></tr> </table> 三世代同居・近居支援事業 子育てや介護などの支え合いを促進するとともに、地域コミュニティの次世代の担い手の確保を図るため、小学生以下の子がいる世帯が、親世帯近くの市内に住み替える（同居を含む。）場合に、引越し費用等の一部を助成する。 補助率 １／２ 限度額 １０万円		補助率	限度額	初年度	５／５	１０万円	２年度目	４／５	８万円	３年度目	３／５	６万円	４年度目	２／５	４万円	５年度目	１／５	２万円
	補助率	限度額																		
初年度	５／５	１０万円																		
２年度目	４／５	８万円																		
３年度目	３／５	６万円																		
４年度目	２／５	４万円																		
５年度目	１／５	２万円																		

事業名	事業費	説明
似島の活性化	953万7千円 財源内訳 〔 財産運用収入 16万8千円 〕 〔 一般財源 936万9千円 〕	地域住民との連携のもと、似島の魅力や特性を活かした交流活動の一層の促進や公共施設の有効活用など似島の活性化に取り組む。 地域おこし協力隊の配置 708万6千円 配置人員 2人 交流拠点施設の管理運営 132万7千円 地域協力活動の実施 112万4千円 活動内容 ①地域住民と連携し、似島の活性化に資する事業を企画・立案・実施 ②似島の魅力発見につながる情報収集・発信 ③来島者のための無料レンタサイクルの貸出し
安佐市民病院跡地活用の推進	23万8千円 財源内訳 〔 一般財源 23万8千円 〕	安佐市民病院移転後の跡地活用について、地域の代表者等で構成する協議会を設置し、地域の理解と協力の下、跡地に導入する施設・機能の円滑な整備・運用に向けた検討を行う。
公共施設等マネジメントの推進	430万円 財源内訳 〔 一般財源 430万円 〕	公共施設等総合管理計画に基づき、計画期間内に耐用年数を経過する公民館、集会所等について、近隣施設との複合・集約化を地域住民とともに検討する。 ワークショップ等の実施

事業名	事業費	説明	明
⑨ 超高速ブロードバンド環境の整備	9,911万4千円	中山間地・島しょ部における情報通信に係る地域間の格差を解消することにより、市内全域で必要に応じ十分にインターネットを利活用できる環境を整えるため、民間事業者に対し、整備に要する経費の一部を補助する。	
	財源内訳		
	市債		
	7,020万円		
	一般財源		
	2,891万4千円		
	対象事業	超高速ブロードバンド環境（通信量に制限のない高速度でのインターネットの利活用を可能とする情報通信網）の整備事業	
	対象地域	超高速ブロードバンド環境の未整備地域	

(市 民 局)

事 業 名	事 業 費	説 明
2020年までの核兵器廃絶 を目指した取組の推進	2,073万6千円 財源内訳 〔 雑入 457万2千円 一般財源 1,616万4千円 〕	N P T 再検討会議等国際会議の誘致 15万5千円 2020年に開催されるN P T 再検討 会議などの国際会議の広島開催実 現に向け、国との協議を行う。 2 0 2 0 ビジョンキャンペーンの展 開 1,063万1千円 N P T 再検討会議第1回準備委 員会・ゲルニカ爆撃80周年記念 式典への出席 579万2千円 時 期 29年4・5月 訪問先 オーストリア・ウィー ン市、スペイン・ゲル ニカ・ルモ市 核兵器禁止条約の制定に向けた 交渉会議への出席 210万6千円 時 期 29年7月 訪問先 米国・ニューヨーク市 ロシア国内の平和首長会議加盟 都市との連携強化 123万5千円 時 期 29年11月 訪問先 ロシア・ボルゴグラ ド市及びモスクワ市 核兵器禁止条約の交渉開始等を 求める市民署名活動の展開等 149万8千円 ヒロシマ・ナガサキ原爆展の開催 (長崎市との共同事業) 475万9千円 場 所 ハンガリー・ブダペスト 市など 内 容 原爆写真パネル、被爆資 料の展示、被爆体験証言、 ビデオ上映など

事業名	事業費	説明
		国内原爆展の開催 519万1千円 場 所 糸満市、沖縄市、石垣市
平和意識の醸成	255万8千円 財源内訳 〔 雑入 255万8千円 〕	折り鶴に託された思いを昇華させるための取組の推進 昇華に取り組む市民や民間団体等への折り鶴の配付 148万5千円 折り鶴の運搬・保管 107万3千円
被爆体験の継承・伝承	12億3,832万7千円 財源内訳 〔 国庫補助金 1億4,812万円 市債 9億9,020万円 一般財源 1億7千円 〕	被爆体験伝承者の養成 294万6千円 被爆体験を次世代に伝えていくため、伝承者を養成する。 被爆体験伝承者による伝承講話の定時開催 359万1千円 3年間の研修を修了した被爆体験伝承者による伝承講話を定時開催する。

事業名	事業費	説明
		平和記念資料館再整備事業 12億3,159万6千円 被爆の実相をより一層分かりやすく伝えるため、常設展示の全面的な更新を行うとともに、開館から60年以上が経過し老朽化している建物の改修を行う。 本館改修工事 5億3,737万3千円 本館展示整備等 4億6,798万8千円 渡り廊下拡張工事 1億9,300万円 発掘調査整理業務 1,970万円 仮設テント設置 1,353万5千円 入館待機者の暑さ対策のため、東館南側に仮設テントを設置する。 (スケジュール) 27年度 東館改修工事・展示整備等、発掘調査 28年度 本館改修工事・展示整備等、東館構造補強工事、発掘調査、東館開館・本館閉館 29年度 本館改修工事・展示整備等、渡り廊下拡張工事、発掘調査整理業務、仮設テント設置 30・31年度 本館改修工事 旧中島地区被爆遺構の展示整備検討 19万4千円 平和記念公園内にある旧中島地区被爆遺構の保存・展示方法について、調査・検討を行う。

事業名	事業費	説明
原爆ドーム保存事業等基金の活用による事業展開	1億8,546万6千円 (一部再掲) 財源内訳 〔 県補助金 475万円 財産売払収入 67万5千円 基金繰入金 1億7,746万6千円 一般財源 257万5千円 〕	平和記念資料館観覧料の改定による増収相当額を、原爆ドーム保存事業等基金に積み立て、被爆の実相を守り、広め、伝える事業を充実する。 〔 原爆ドーム保存事業等基金積立金 1億2,800万円 (平和記念資料館観覧料増収相当額) 〕 平和首長会議インターンシップ 576万4千円 海外の平和首長会議加盟都市の若手職員等をインターンとして招へいし、平和首長会議事務局の業務に従事してもらう。 青少年「平和と交流」支援事業 910万4千円 平和首長会議の国内外の加盟都市の青少年に対し、被爆者の体験や平和への思いなどを学び、交流を深めるために実施している既存の事業への参加を支援する。 ⑨ 国連見学ツアーガイドのヒロシマ研修 477万6千円 常設の原爆展を開設している国連から国連見学ツアーガイド等を招へいし、被爆の実相を理解するための研修を実施する。 NPT再検討会議等への高校生派遣事業 389万1千円 NPT再検討会議第1回準備委員会に高校生を派遣し、ヒロシマのメッセージの発信や平和のアピール等を行う。 時 期 29年5月 派遣先 オーストリア・ウィーン市

事業名	事業費	説明
		⑨ ドイツへの平和芸術団の派遣 700万円 エリザベト音楽大学の学生等を平和芸術団としてドイツへ派遣し、演奏や原爆に関する資料展示、学生との交流等を通じ、被爆の実相を伝える。 時 期 29年 8 月 派遣先 ドイツ・ベルリン市 及びハノーバー市 折り鶴ポストカードによるピース メール事業 1,050万円 平和記念資料館入館者に対して、 ポストカードを配付し、平和への 思いを記して館内の郵便ポスト に投函してもらう。 民有建物等保存・継承事業への 補助 3,513万1千円 補助率 10／10 限度額 非木造 8,000万円 木 造 3,000万円 旧日本銀行広島支店の保存 6,645万3千円 国の重要文化財の指定に向けて、 文化財的価値を高めるための復 原工事を実施する。 (スケジュール) 28年度 実施設計 29年度 復原工事 30・31年度 復原工事

事業名	事業費	説明	明
		⑨ ピースツーリズム推進事業（再掲） 外国人旅行者等の市内での周遊を促進するため、主要な平和関連施設を巡るルートを設定するとともに、各施設周辺の過去から現在への変化を画像で体験できるスマートフォン用のコンテンツを提供する。 ⑨ 被爆建物・被爆樹木等散策ガイドの作成 被爆建物や被爆樹木等の説明や散策ルートなどを掲載したガイドブックを作成する。 被爆建物・被爆樹木めぐり 被爆建物や被爆樹木の見学ツアーを開催し、被爆の実相に触れる機会を提供する。 被爆樹木モニタリング等事業 樹木医による被爆樹木のモニタリングを行い、樹勢回復措置を講じる。 平和記念資料館収蔵資料の保存措置の強化 被爆資料の劣化状況の調査を行い、必要な保存措置を講じるとともに、被爆者証言ビデオのデジタル化を行う。 被爆資料の収集等の強化 米国国会図書館等が所蔵する被爆資料の調査・収集を行うとともに、平和記念資料館と海外の博物館とのネットワーク強化に取り組む。	950万円 450万円 8万3千円 188万円 1,535万円 751万7千円

事業名	事業費	説明
		平和記念資料館ボランティアスタッフ活動支援事業 218万9千円 平和記念資料館のボランティアスタッフの資質向上・保持を図るための研修を行う。 「ヒロシマから世界へ」ふるさと納税の推進 182万8千円 平和を目的とした寄附をする者に対し、自らも被爆の実相を広め、伝えてもらえるよう、平和記念資料館の図録等を贈呈する。
国際平和拠点ひろしま構想の推進	187万3千円 財源内訳 〔 一般財源 187万3千円 〕	世界恒久平和の実現に向け、広島県が策定した「国際平和拠点ひろしま構想」を推進する事業を広島県と共同で実施する。 復興・平和構築の研究 172万3千円 研究・教育機関の連携強化 15万円
犯罪や事故の起こりにくい安全なまちづくりの推進	1,208万2千円 財源内訳 〔 一般財源 1,208万2千円 〕	地域防犯カメラ設置補助 地域の自主的な防犯活動を補完するため、防犯活動を行っている町内会・自治会、防犯組合等に対し、防犯カメラの設置に要する経費の一部を補助する。 補助率 3／4 限度額 30万円／台 補助台数 40台

事業名	事業費	説明
比治山公園「平和の丘」に係る施設整備	3,482万9千円 (一部再掲) 財源内訳 〔市債 2,050万円〕 一般財源 1,432万9千円	まんが図書館・御便殿広場整備 916万8千円 図書館前広場に屋根を設置するとともに、書庫を増設し、広場と図書館1階にイベント空間を確保するほか、緑陰読書を楽しめるよう、御便殿広場にベンチや芝生等を整備する。 (スケジュール) 29年度 実施設計 30年度 工事
		頼山陽文徳殿整備 477万円 被爆建物の見学会や被爆樹木の説明会を開催するなど、被爆の実相を伝える場として活用するため、屋根の改修や空調設備の整備等を行う。 (スケジュール) 29年度 実施設計 30年度 工事
		現代美術館整備 559万1千円 現代美術による平和発信機能を強化するとともに、施設の魅力向上等を図るため、改修に係る基本計画を策定する。
		⑨ 陸軍墓地整備 (再掲) 810万円
		比治山公園整備 (再掲) 720万円

事業名	事業費	説明
生涯学習関連施設の整備	10億6,128万4千円	公民館整備
	財源内訳	
	〔 国庫補助金 3億4,581万8千円 市債 5億7,260万円 一般財源 1億4,286万6千円 〕	沼田公民館建替え (沼田出張所、沼田老人い こいの家と合築) (スケジュール) 26～28年度 基本設計、実施設 計、建設工事等 29年度 建設工事等 30年度 開館、駐車場用地取得 等 公民館福祉環境整備 1億200万円 エレベーター設置 実施設計 800万円 己斐上、日浦 設置工事 9,400万円 藤の木、美鈴が丘 公民館の耐震化 8,580万円 耐震診断 7,600万円 南観音など27館 耐震補強計画策定 670万円 草津、祇園 実施設計 310万円 中央 公民館一般整備 7,100万円

事業名	事業費	説明
花と緑と音楽の広島づくりの推進	5,811万9千円 財源内訳 〔 国庫補助金 1,250万円 雑入 1,220万円 一般財源 3,341万9千円 〕	「音楽のあふれるまちづくり」の推進 広島交響楽団等による花と音楽のイベント 1,000万7千円 時期 春（29年5月14日） 秋（29年11月3日） 冬（30年2月3日） 場所 広島国際会議場 平和の夕べコンサートの開催 472万8千円 時期 29年8月5日 場所 広島市文化交流会館 アフィニス夏の音楽祭2017 広島の開催 225万3千円 時期 29年8月19～27日 場所 JMSアステールプラザほか 大邱広域市姉妹都市提携20周年記念事業 1,822万円 芸術団の受入れ 1,427万円 時期 29年5月 人員 70人 内容 オペラ公演等 芸術団の派遣 395万円 時期 29年9月 人員 56人 内容 大邱世界合唱フェスティバルへの参加等

事業名	事業費	説明
		威風堂々クラシック in Hiroshima の開催 348万円 時 期 29年11月18・19日 場 所 市役所市民ロビー、 広島国際会議場など 10か所程度 ⑨ 「ひろしまユース文化芸術祭」の 開催 1,750万円 市内の中学・高校生が著名な演 奏家等から指導を受ける機会を 設けるとともに、その成果を発 表するイベントを開催する。 時 期 30年1月27・28日 場 所 JMSアステールプ ラザ ⑨ まちかど音楽プロデュース 38万9千円 市民が身近なところでいつでも 気軽に音楽を楽しめるよう、ま ちかどコンサートを開催する。 ⑨ プロ音楽家による出前音楽授業 60万円 市内の小学校にプロの音楽家を 派遣し、出前音楽授業を行う。 ⑨ 「音楽のあふれるまちづくり」の PR 94万2千円 「音楽のあふれるまちづくり」 の取組を紹介するため、PRグ ッズ等を作成する。

事業名	事業費	説明
⑨ 浅野氏入城400年記念事業	186万7千円 (一部再掲) 財源内訳 [一般財源 186万7千円]	浅野氏が広島城に入城してから400年を迎える31年8月に向けて、記念事業を実施する。 (事業内容) ①浅野藩政期の広島歴史・文化をテーマとした歴史講座を開催する。 ②入城400年を告知するチラシを作成する。 ③浅野氏の歴史をたどるマップを作成する。(再掲)
文化芸術の振興	1億3,909万9千円 財源内訳 [国庫補助金 713万4千円 市債 370万円 負担金 119万円 一般財源 1億2,707万5千円]	「第17回広島国際アニメーションフェスティバル」の開催準備 3,632万4千円 ⑨ 旧日本銀行広島支店での博物館資料の展示 1,171万3千円 本市が収集している博物館資料を有効活用し、海外移住と被爆前後の生活様式や風俗習慣をテーマにした展示を行う。 (スケジュール) 29年度 展示計画策定、展示準備 30年度 展示

事業名	事業費	説明
		毛利氏関連の博物館等施設による連携事業（都市圏連携事業） 155万7千円 広島広域都市圏内にある毛利氏ゆかりの博物館等の施設が連携し、観光ルートの構築等を行う。 広島城二の丸の活用 262万円 広島城二の丸において、上田宗箇流の茶会の開催及び伝統工芸品の展示を行う。 第10回ヒロシマ賞受賞記念展「モナ・ハトゥム展」の開催等 7,824万3千円 時 期 29年7～10月 場 所 広島市現代美術館 「平和を祈るアートボトル展」の開催 364万2千円 時 期 29年11月 場 所 広島市現代美術館ほか 内 容 イタリアの酒造会社が製作する芸術的なボトルの展示会 広島市文化創造センター等の整備 500万円 国際会議や学術会議の誘致・開催を推進するため、会議室等に無線LANを整備する。

事業名	事業費	説明
地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の振興	2億940万円 財源内訳 〔 国庫補助金 350万円 〕 市債 1億9,430万円 一般財源 1,160万円	岡田運動広場整備 1億9,430万円 (スケジュール) 28年度 造成工事 29年度 造成工事、実施設計等 30年度 施設整備 スポーツセンターの耐震化 1,510万円 耐震診断 700万円 南区スポーツセンター 耐震補強計画策定 810万円 西区スポーツセンター
東京オリンピック・パラリンピック等への対応	1,052万7千円 財源内訳 〔 一般財源 1,052万7千円 〕	事前合宿誘致活動 768万円 メキシコ合衆国への誘致活動 745万1千円 広島県、経済界等と連携し、メキシコ合衆国選手団の事前合宿誘致に取り組む。 キューバ共和国等への誘致活動 22万9千円 関連事業の推進 84万7千円 東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、スポーツと平和に関する国際会議の開催の検討などを行う。 ラグビー日本代表強化合宿補助 200万円

事業名	事業費	説明
スポーツ大会開催補助	2,165万円 財源内訳 〔一般財源 2,165万円〕	天皇盃第23回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 900万円 第22回広島国際ハンドボール大会 450万円 第51回織田幹雄記念国際陸上競技大会 290万円 第37回ひろしま国際平和マラソン 320万円 第22回アジアカップひろしま国際ソフトテニス大会 160万円 第4回アジアカップグランドマスターズホッケー大会 45万円
サッカースタジアムに係る調査・検討	824万7千円 財源内訳 〔県負担金 400万円 一般財源 424万7千円〕	中央公園広場に係る調査 800万円 騒音対策や観客の動線などの調査・検討を行う。 事業費 800万円 〔負担区分〕 〔広島市 400万円 広島県 400万円〕 スタジアム視察 24万7千円

事業名	事業費	説明
地域コミュニティ活動の振興	1億7,480万円 財源内訳 〔 国庫補助金 2,624万5千円 〕 一般財源 1億4,855万5千円	集会所整備 集会所福祉環境整備 1,100万円 便所改修等 集会所一般整備 5,500万円 集会施設整備費補助 3,000万円 補助率 1 / 2 限度額 新築・購入 500万円 増築・改修等 270万円 集会所の耐震化 7,880万円 耐震診断 西平塚など44施設
男女共同参画社会の形成	435万7千円 財源内訳 〔 国庫委託金 270万1千円 〕 県補助金 3万6千円 一般財源 162万円	男女共同参画普及啓発事業 177万3千円 男女共同参画推進事業者の顕彰 13万5千円 事業所等向け男女共同参画支援講座の開催 15万1千円 男女共同参画情報誌の作成等 62万9千円 小中学生向け男女共同参画啓発用冊子の作成 85万8千円 DV防止・被害者支援対策 198万2千円 民間シェルターの支援 120万円 DV防止啓発リーフレットの作成等 78万2千円

事業名	事業費	説明
		働く女性・若者のための就労環境整備の推進 7万3千円 女性や若者が働きやすい、働きがいのある就労環境の整備を推進するため、中小企業に対して研修会を実施する。 男性の家事参画等への支援 52万9千円 主に子育て中の男性向けに、家事参画や職業生活と家庭生活の両立を啓発する冊子を作成し、街頭啓発活動を行う。
国際交流・国際協力の推進等	1,074万9千円 財源内訳 〔一般財源 1,074万9千円〕	大邱広域市姉妹都市提携20周年記念事業 374万9千円 代表団の受入れ 272万7千円 時 期 29年5月 人 員 30人 代表団の派遣 102万2千円 時 期 29年9月 人 員 5人 国連訓練調査研究所（ユニタール）の研修プロジェクトに対する支援 700万円 ユニタールが広島で開催する「平和構築に向けた核軍縮不拡散のためのワークショップ」に要する経費の一部を補助する。

事業名		事業費	説明	明
市民と区役所の協働まちづくりプログラム		1億1,170万7千円 (一部再掲) 財源内訳 〔一般財源 1億1,170万7千円〕	区の魅力と活力向上推進事業 区役所が、市政車座談義や区長と住民との対話等を踏まえ、企画・立案力を十分に発揮し、地域の魅力や活力の向上に資する住民の主体的かつ継続的な活動を効果的に支援することによって、魅力と活力のあるまちづくりを推進する。 住民主体のまちづくり活動への支援	1億円 7,208万2千円
【29年度実施事業】				
区	事業名		事業費	
中区	地域力を高めるまちづくり	地域コミュニティの強化	17万9千円	
		基町住宅地区の活性化	347万1千円	
	にぎわいのあるまちづくり	まちなかにぎわいづくり事業	39万2千円	
		まちづくり地域活動の支援	2万8千円	
	ふれあいのあるまちづくり	花づくり活動の支援 (ボランティア花壇づくり事業)	170万6千円	
	地域の魅力を活用したまちづくり	砂持加勢まつりの開催	170万6千円	
		城下町広島ぶらりプロジェクト	119万9千円	
	安心・安全なまちづくり	大雨浸水対策の推進	36万4千円	
	計		904万5千円	
東区	もてなしのまちづくり	「東区もてなしの場」の創出	411万6千円	
		花のある街並みの形成	90万6千円	
	地域資源を生かしたにぎわいづくり	二葉の里歴史の散歩道のブラッシュアップ	146万9千円	
		緑と水に親しむ環境づくりの推進	70万7千円	
		大学との地域連携によるまちづくり	21万5千円	
	みんなで支え合う地域づくり	地域ぐるみで子育て支援	98万8千円	
		市民の健康づくり	18万円	
		認知症高齢者支援体制の整備	30万9千円	
		地域コミュニティの再生	73万2千円	
計		962万2千円		

[illegible]

事業名	事業費	説明	明
区	事業名		事業費
安佐南区	地域への愛着と誇りが持てるまち	魅力的なまちの顔づくり事業	53万5千円
		安佐南マイタウンレポーター事業	2万1千円
		ふるさと安佐南区再発見事業	24万3千円
	人と人のつながりを大切にするまち	NPOと地域の連携	2万4千円
		安佐南区民交流駅伝大会	65万円
		安佐南区花いっぱい運動	153万4千円
		めざせ子育てほっとタウンあさみなみ	57万円
		安佐南さわやかあいさつ運動	23万9千円
	土と緑に親しみ、自然の恵みと環境を大切にするまち	ルート77グリーン街道推進事業	302万5千円
		ボランティアによる権現山憩の森整備事業	63万円
	地域と大学の交流と連携により、元気あふれるまち	大学と地域の連携	16万1千円
		あさみなみ区民大学の運営	36万3千円
		あさみなみ地学地就支援事業	10万3千円
	計		809万8千円
安佐北区	ふるさとの自然発見	可部連山トレイルランinあさきたの開催	204万円
		あさきた里山マスター制度の運用	71万2千円
	ふるさとの歴史・文化発見	あさきた神楽発表会の開催	93万7千円
		高陽地区のにぎわい創出	25万1千円
	まちなか元気づくり	可部線電化延伸を契機とした可部のまちづくり（新規）	220万円
		あさきた元気フェスタの開催	46万円
	地域のきずなづくり	冒険の遊び場の整備	31万1千円
		安佐北区花のまちづくり推進事業	52万6千円
	実りの里づくり	実りの里づくりの展開	117万1千円
	災害に強いコミュニティづくり	災害に強いコミュニティ“あさきた”をつくろう	40万円
	計		900万8千円

事業名		事業費	説明	明
区	事業名		事業費	
安芸区	地域のきずなづくり	花と笑顔が広がるまち・安芸区	124万7千円	
		となり町との出会いと交流づくり	111万5千円	
		地域のきずなづくり支援事業（新規）	110万8千円	
	みんなでつくる元気なまち	里山あーと村ふるさと起こし	217万7千円	
		阿戸地区活性化事業	133万円	
		矢野にぎわいづくり	57万7千円	
	自然にふれるやすらぎの空間づくり	絵下山お宝の山づくり	98万5千円	
	ふるさとの魅力活用	ぶらりふるさと魅力再発見	97万7千円	
	計		951万6千円	
佐伯区	地域資源を生かしたまちづくり	湯の山温泉・旧湯治場の利活用の促進	55万円	
	地域力を高めるまちづくり	住宅団地の活性化	57万円	
		中山間地域での集落の活性化	60万8千円	
		町内会の加入促進	52万2千円	
		湯来地区の活性化	27万円	
		区民主体のまちづくりの推進	33万円	
	人が集い交流するまちづくり	区の木、区の花でまちづくり	96万1千円	
		さえきフラワー・プロジェクト	50万4千円	
		アートフェスタ佐伯区	75万円	
		五日市駅自由通路の活性化	6万円	
		おもてなしの花づくり	62万7千円	
		佐伯区の観光振興	30万9千円	
		近隣市町との連携によるまちづくり	60万円	
		大型クルーズ客船の寄港を生かしたまちづくり	228万4千円	
	計		894万5千円	

事業名	事業費	説明												
		区の魅力と活力向上推進事業補助 2,791万8千円 <table> <tr> <td></td><td>補助率</td><td>限度額</td></tr> <tr> <td>初年度</td><td>2／3</td><td>100万円</td></tr> <tr> <td>2年度目</td><td>1／2</td><td>70万円</td></tr> <tr> <td>3年度目</td><td>1／3</td><td>35万円</td></tr> </table> 「まちづくり支援センター」の運営 230万7千円 まちづくり活動に対する相談や助言などを行う。 商店街活性化事業費補助（再掲） 940万円 イベント主体型補助 730万円 ⑨ 店舗魅力向上型補助 210万円		補助率	限度額	初年度	2／3	100万円	2年度目	1／2	70万円	3年度目	1／3	35万円
	補助率	限度額												
初年度	2／3	100万円												
2年度目	1／2	70万円												
3年度目	1／3	35万円												